

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	疾病論Ⅱ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生	学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	大岩敏彦 八田秀一 佐藤通洋	実務経験と その関連資格			

《授業科目における学習内容》

健康問題を抱える患者の看護を展開するには疾患の理解が不可欠である。人間の各臓器に身体的・精神的な障害がおこった場合に、その患者がいかなる状態におかれたかを理解し、患者のニードを満たすため看護の役割について系統立てて学習する。ここでは、既習の生体機能学と連動させ、消化器・内分泌・代謝・腎泌尿器官について疾患の成因と病態生理、検査・治療について学ぶ。

《成績評価の方法と基準》

参加状況・筆記試験により総合的に評価

《使用教材(教科書)及び参考図書》

系統看護学講座 専門分野5 消化器 医学書院
系統看護学講座 専門分野6 内分泌・代謝 医学書院
系統看護学講座 専門分野8 腎・泌尿器 医学書院

《授業外における学習方法》

《履修に当たっての留意点》

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回 講義形式	授業を通じての到達目標	1. 消化・吸収機能障害を起こす疾患について説明できる①	テキスト	(課題)
	各コマにおける授業予定	消化・吸収機能障害 消化管の疾患(消化管の炎症、潰瘍・腫瘍) 肝臓・胆嚢・膵臓の疾患		
第2回 講義形式	授業を通じての到達目標	1. 消化・吸収機能障害を起こす疾患について説明できる②	テキスト	(課題)
	各コマにおける授業予定	主要疾患:食道静脈瘤、胃十二指腸潰瘍 肝機能障害(ウィルス性肝炎、肝硬変) 膵炎、腸管出血性大腸菌感染症、潰瘍性大腸炎		
第3回 講義形式	授業を通じての到達目標	1. 消化・吸収機能障害を起こす疾患の症状について説明できる	テキスト	(課題)
	各コマにおける授業予定	主要症状 咀嚼・嚥下障害・吐血・下血 胃痛・腹痛・嘔気・嘔吐・イレウス 便秘・下痢・腹水・肝性脳症		
第4回 講義形式	授業を通じての到達目標	1. 消化・吸収機能障害を起こす疾患の検査・治療について説明できる	テキスト	(課題)
	各コマにおける授業予定	検査・治療:直腸診、消化管内視鏡、造影検査 インターフェロン療法、肝生検、肝動脈塞栓症 中心静脈栄養法、胆汁瘻ドレナージ		
第5回 講義形式	授業を通じての到達目標	1. 消化器系疾患の手術療法について説明できる	テキスト	(課題)
	各コマにおける授業予定	手術療法:腹腔鏡下での手術、胆嚢摘出術、食道再建術 胃切除術、腸切除術、肝切除術、膵切除術 合併症と予後		

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	1. 栄養バランスの不均衡による疾患について説明できる	テキスト	(課題)
	各コマにおける授業予定	栄養バランスの不均衡による疾患 主要疾患:糖尿病、メタボリックシンドローム、肥満 脂質異常症(高脂血症)、高尿酸血症、痛風 必須栄養素とエネルギー不足の疾患		
第7回	授業を通じての到達目標	1. 血糖異常の病態、検査、治療について説明できる	テキスト	(課題)
	各コマにおける授業予定	主要症状 高血糖 低血糖		
第8回	授業を通じての到達目標	1. 糖尿病の検査、治療について説明できる	テキスト	(課題)
	各コマにおける授業予定	検査:糖代謝の検査 治療:経口糖尿病薬、インスリン療法、食事療法、運動療法 合併症と予後		
第9回	授業を通じての到達目標	1. 内分泌疾患について説明できる	テキスト	(課題)
	各コマにおける授業予定	内分泌系の疾患 主要疾患:甲状腺機能障害(亢進、低下) バセドウ病、クッシング症候群、アジソン病、原発性アルドステロン症		
第10回	授業を通じての到達目標	1. 内分泌・代謝系疾患の主要症状について説明できる	テキスト	(課題)
	各コマにおける授業予定	主要症状:口渴、多尿、眼球突出、甲状腺腫、倦怠感、発汗過多 検査・治療・手術療法:血液検査、薬物療法、ホルモン療法 甲状腺切除術、食事療法		
第11回	授業を通じての到達目標	1. 腎臓・泌尿器系の疾患について説明できる	テキスト	(課題)
	各コマにおける授業予定	腎・泌尿器・排泄の機能障害 腎泌尿器系の疾患 腎泌尿器の炎症・腫瘍・通過障害		
第12回	授業を通じての到達目標	1. 腎不全の検査・治療・合併症について説明できる	テキスト	(課題)
	各コマにおける授業予定	腎不全 主要症状、検査・治療、合併症と予後		
第13回	授業を通じての到達目標	1. 排泄障害について説明できる	テキスト	(課題)
	各コマにおける授業予定	排泄機能障害、男性生殖器の疾患 主要症状、検査・治療、合併症と予後		
第14回	授業を通じての到達目標	1. 水・電解質の異常、その症状について説明できる	テキスト	(課題)
	各コマにおける授業予定	体液の調節障害:水と電解質・酸塩基平衡の異常 主要疾患:腎炎、ネフローゼ症候群、結石・腎不全、前立腺肥大症 主要症状:浮腫、蛋白尿、血尿、排尿障害、疼痛		
第15回	授業を通じての到達目標	1. 腎不全について説明できる	テキスト	(課題)
	各コマにおける授業予定	検査:腎生検、尿道造影 治療:透析療法(血液・腹膜)、腎移植、碎石術、食事・安静・薬物療法 合併症と予後		